



大学院教育学研究科 出身
伊達 文香さん

株式会社イトバナシ
代表取締役兼デザイナー

だて・ふみか／奈良県出身。広島大学教育学部を卒業後、広島大学大学院教育学研究科に進学し、2017年に修了。大学院在学中、1年間休学しインドへ留学。2017年に株式会社イトバナシ(本社:奈良県五條市)を起業。

※ 現 大学院人間社会科学研究科

インドで出会った 美しい刺繡のとりこに

株式会社イトバナシでは、インド刺繡を施した生地を洋服に仕立てて販売しています。私がインド刺繡に出会ったのは、大学院を休学してインドへ留学していた時です。人身売買の被害にあった女性を支援するため、所属していたファッショショーサークルでの経験を生かし、ショーを開催。彼女たちが作ったものの良さを伝えるとともに、自分たちの作ったものを多くの人に見てもらうことで作り手の自己肯定感を高めることを目指しました。その中で現地の女性たちが故郷に思いを寄せながら刺繡する姿に感動し、インド刺繡を用いた服を作りたいと思ったことが、起業のきっかけです。

帰国後は資金調達のために日刊工業新聞社が主催するキャンパスベンチャーランプリに応募し、中国大会で最優秀賞を受賞。出場にあたっては、広島大学起業部「1st Penguin Club」でプレゼンを指導してもらうなど、大学からも支援を受けました。

手仕事を生かし 作り手の暮らしも支える

心がけているのは、刺繡という効率化できない手仕事の性質を生かした、クリティの高いものづくり。現地の職人と直接取引することで、刺繡の技術と時間に見合った適切な給与を支払い、労働環境の改善に取り組んでいます。当社の仕事を始めてから、子どもを学校に通わせられるようになったという職人もいます。また、仕立てる洋服は年齢や体形を問わ

ないデザインを意識して、長く着ていただけの工夫しています。

現在はECサイトの他、月に3日間だけオープンする店舗を広島県と奈良県に構えています。地方にもかかわらず3日間で500人ほどのお客様が来店されることに可能性を感じます。今後は店舗を増やし、イトバナシを通じて日本や世界のさまざまな地域を知るきっかけを提供していきたいです。

広大のここがええね！

地方大学ならではの、地域との連携が強みだと感じます。やりたいことに挑戦できる環境があるので、学生の皆さんにはぜひいろいろなことに挑戦してみてください。